

令和元年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

山下 博史 議員

◇若者の県内定着促進について

(1) 高校におけるものづくり人材等の育成に関して、工業高校等の生徒の確保や県内就職向上への取組について伺いたい。

(教育長答弁)

議員ご指摘のとおり、中学生に対して、ものづくりや情報系の人材育成を行っている高校の魅力をしっかりと伝え、入学した生徒の出口として、県内の企業につなげていくことや、そうした人材育成を支える教員の指導力向上は大変重要と考えております。工業高校等の魅力の発信につきましては、オープンスクールの実施や各中学校での進路学習会に出向いて説明を行っております。また、県教育委員会でも「ハイスクールガイダンス」を作成し、ホームページでいつでも閲覧できる取組も行っております。

さらに、工業高校においては、小中学生を対象とした「ものづくり教室」等を開催し、ものづくりの面白さを体験してもらうなど、独自の取組を行っているところであります。工業高校生の県内就職については、キャリアサポートスタッフを全ての工業高校に配置し、県内企業説明会や企業見学会を実施するとともに、生徒へのきめ細やかな面接指導を行っております。

また、工業高校の3年担任教員を対象とした「県内企業への理解促進を図る研修会」を実施するなど、県内企業への就職につながる教員の意識改革を進めております。今後もこれらの取組を一層充実させ、高校生の県内定着支援に努めてまいります。

(2) 高校入試における「文化・スポーツ特別選抜の定員枠の拡大」について伺いたい。

(教育長答弁)

文化・スポーツ特別推薦は、文化・スポーツの各種大会等で優れた実績を有する者又は部活動で優れた資質や能力を有する者で、入学後も継続的に活動を希望する者が志願する制度であります。

本制度により入学した生徒は、各種大会で活躍するなど、本県高校生の競技力向上や学校の活性化に貢献するものと考えております。

令和3年度の長崎県公立高等学校入学選抜制度の改善方針における「文化・スポーツ特別選抜制度」におきましては、その定員枠を拡大する方向で準備を進めております。このことにより、スポーツ人材の県外流出を一定防ぎ、県内高校の部活動の更なる活性化につながることを期待しております。